

竹富町文化振興・観光交流拠点基本構想書 【概要版】

I. 竹富町文化振興・観光交流拠点整備の背景

■ 拠点施設の必要性

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| (1) 郷土の歴史や文化、自然を総合的に学ぶ
機会の提供 | (4) 情報発信力の強化 |
| (2) 地域への誇りの醸成と、交流機会の創出 | (5) 新たな観光資源の創造 |
| (3) 町の自然・歴史・文化資源の保全、保管 | (6) 国内外の観光客、町民に対する
啓蒙 |

■ 構想の目的

地域の自然・文化を町民が守り誇るための共通の知識を身につけ、
開かれた交流拠点としてまちの未来につなげていく

II. 基本理念・方針

■ 拠点整備の課題

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| (1) 世界から認知される施設 | (3) 持続性ある事業活動による
地域活力の創出 |
| (2) 先端技術導入による新しい学びの場 | (4) 関連計画等との連携、棲み分け |

■ 本拠点に期待されること

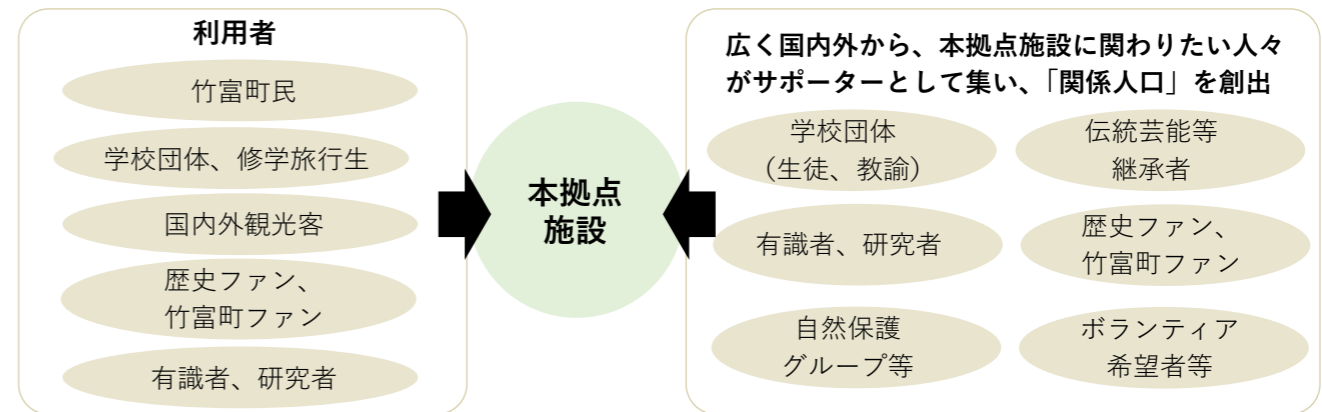
- 自らの生きている場所の歴史を知ることによって竹富町民としてのアイデンティティを深める拠点となる
- 自然や時代との関わりの中で生み出されてきた地域文化を学ぶ拠点となる
- 竹富町の文化財や島々の独自の文化を守り継承していく拠点となる
- 竹富町で生涯暮らしていくための学びを支援する拠点となる
- 多様な目的で町民が集うことができ、地域活性化とまちづくりの拠点となる
- 竹富町の島々の魅力を知ることができる観光振興や情報発信の拠点となる

■ コンセプト

百年後も竹富町らしく存続していく ための「知」と「交流」の拠点

ナイン・アイランズ ミュージアム
Nine Islands Museum

■ 利用者層の考え方



■ 基本方針

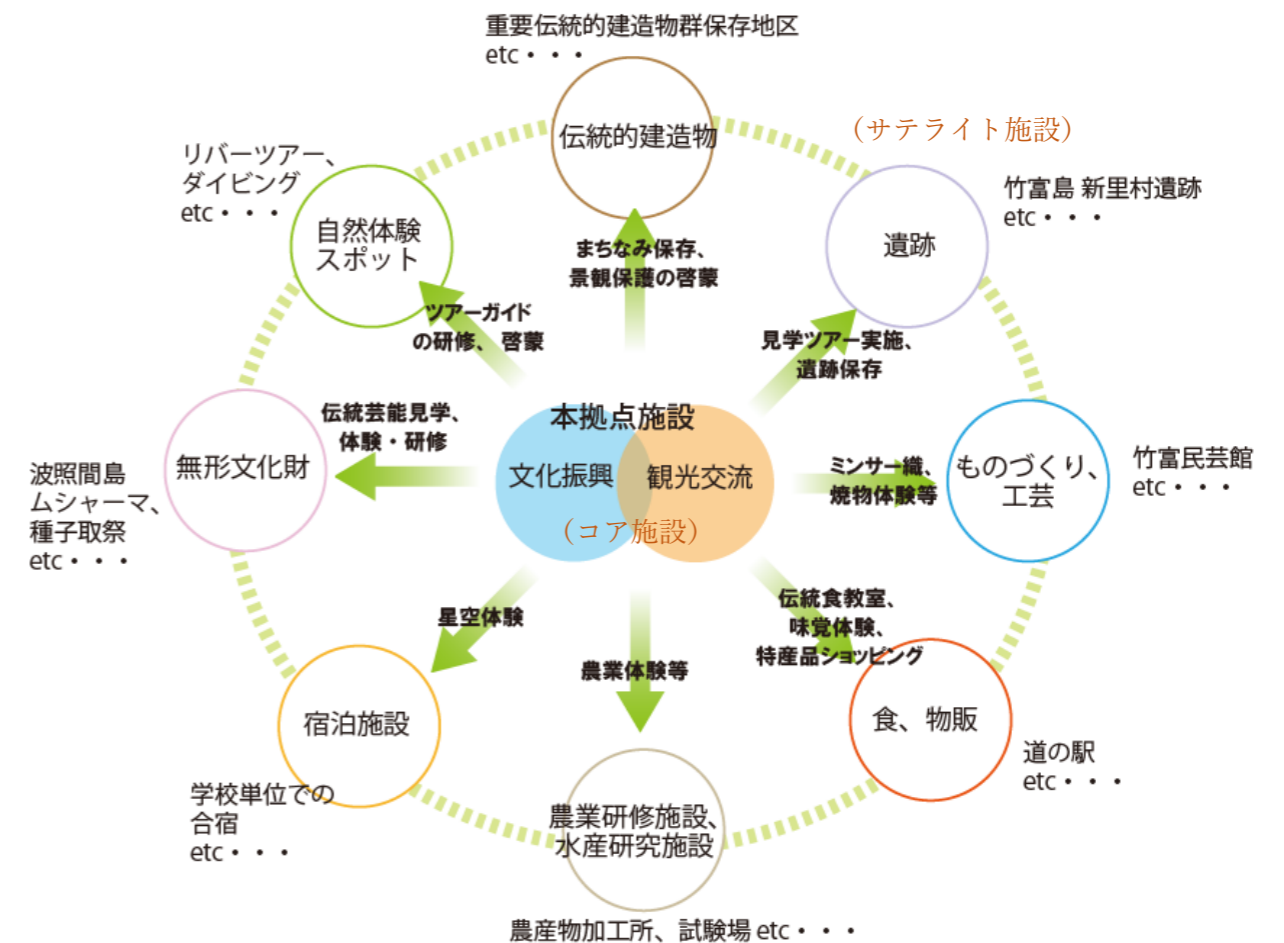
【本構想への取り組みの視点】

竹富町の貴重な自然・歴史・文化資源を
百年後にも変わらず存続させ、
日本最南端の町で生き続けるために

- 方針1：地域の貴重な資源・資料の保存継承
- 方針2：多様な自然・文化の体験による、その価値への理解
- 方針3：町民の文化活動、交流促進による地域コミュニティ活性化
- 方針4：経済活性、地域活性につながるレジャー体験の提供
- 方針5：世界への発信力の保持

■ 拠点施設の展開の考え方

竹富町全体がフィールドミュージアム

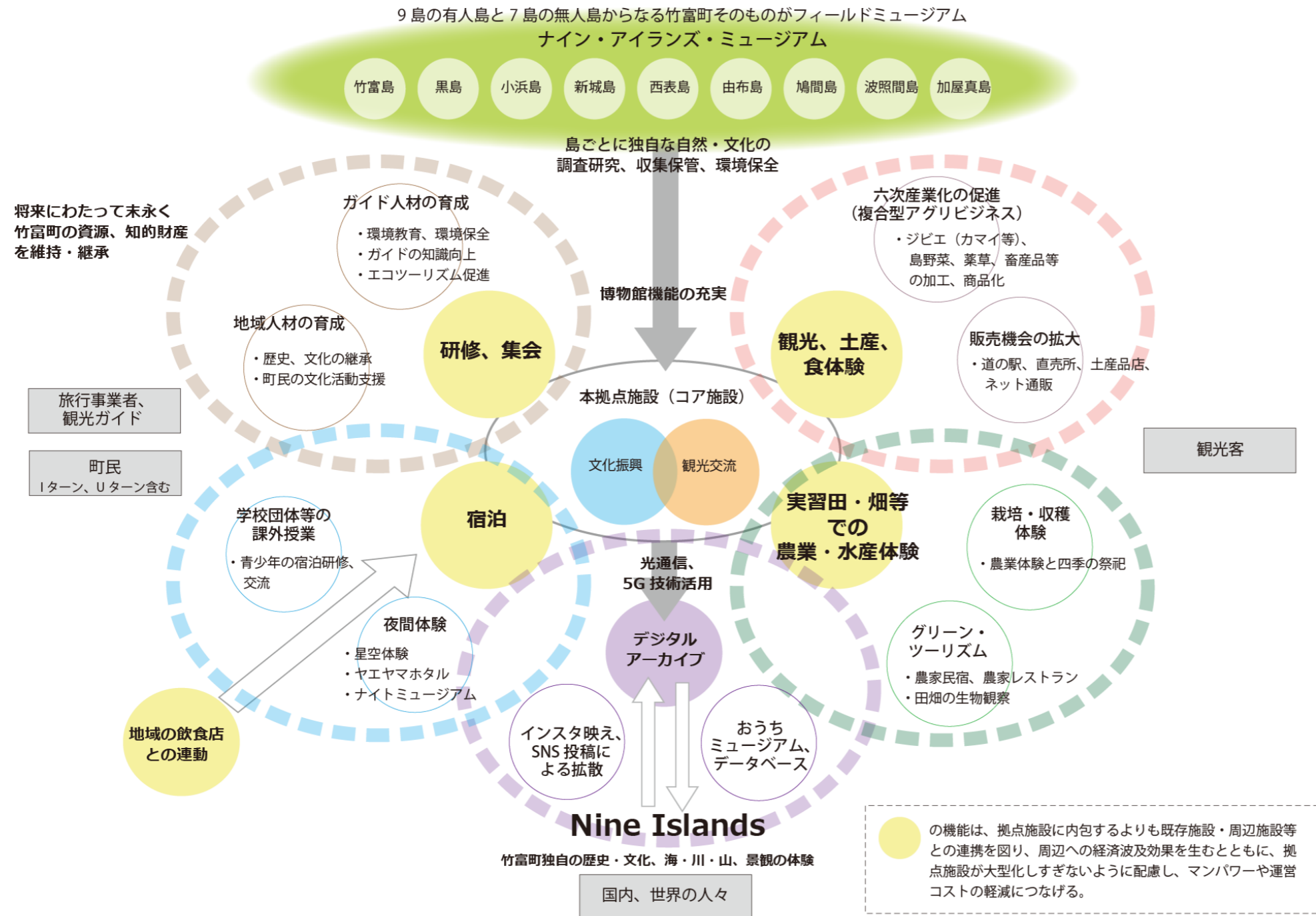


III. 事業活動

■ 事業活動の基本方針

拠点施設の長期的な存続に向けて、従来の博物館スタイルから脱却し、本施設単独ではなく周辺の施設や事業者と連携しながら、観光資源として成り立つ施設、そして新たな観光資源を生み出す施設となることが求められる。竹富町の地域や人々に貢献し、また観光客にとっては竹富町唯一の魅力ある体験ができ、社会・世界にも貢献する、竹富町だからこそ可能な新たな仕組みづくりを目指す。

【事業の展開イメージ】



方針 1. 竹富町にしかない貴重な地域資源をできる限り保全・活用し、他の地域にはない差別化を図る

事業活動 1：収集保存
文化財等の収集と保管

事業活動 2：調査研究
竹富町の自然・歴史・文化の調査・研究

方針 2. 竹富町でしか味わえない、利用者にとって価値ある発見・体験の提供

事業活動 3：展示
本拠点施設や町民による活動・研究成果を公開

事業活動 4：教育普及
体験学習や講座等、利用者の主体的な学びを支援

事業活動 5：交流・観光
交流促進、滞在時間を拡大するレジャーの提供

事業活動 6：情報発信
一人ひとりに向けた発信と同時に、フィールドミュージアムの玄関口として世界への情報発信

方針 3. 地域経済が潤う多様な事業の創出、民間事業者の参入機会の拡大

事業活動 7：連携構築
これまでになかった多様な事業活動のための連携

IV. 展示構想

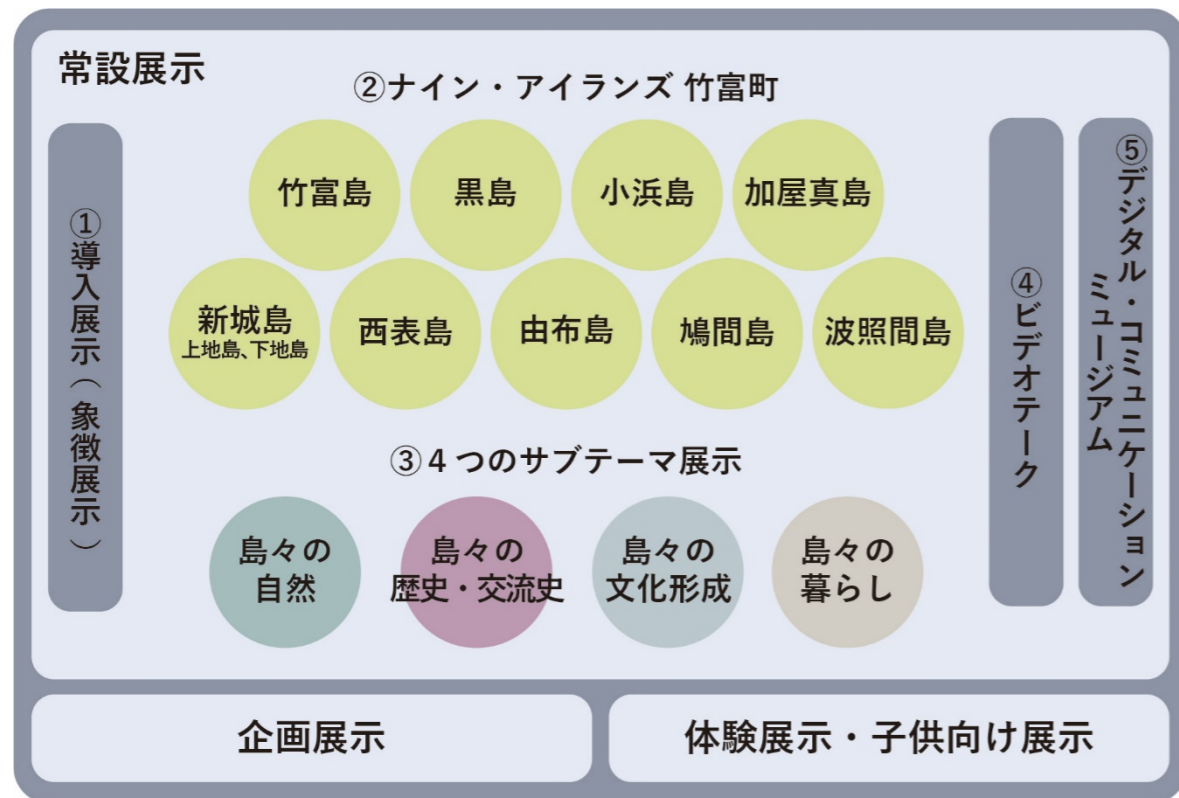
日本最南端の島嶼の町・竹富町が 織りなしてきた3万年の歴史を未来につなげる

竹富町は有人・無人16の島を有する、我が国最南端に位置する島嶼の町で、海を渡ってきた人々がおおよそ3万年以上前から定住した。

16の島々は、それぞれ特徴のある自然環境を有し、美しくかつ厳しい自然の中で、先人たちは知恵と工夫を重ね、島ごとに独自の文化を築き、代々守り、受け継ぎ、今日それらは人類共通の財産となっている。

本拠点の展示は、3万年あまりに及ぶ竹富町の歴史の流れと、集落への人々の定住、その中で生まれ、守られてきた信仰や祭事、生活の営みなど地域固有の文化とその背景を正しく理解して未来に継承し、新たなまちづくりにつなげることを目指すものとする。

■ 拠点施設の展示構成



- ① 導入展示： コンセプトを象徴する展示
- ② ナイン・アイランズ竹富町： 9つの有人島を紹介する
- ③ 4つのサブテーマ展示： 島々を知る上でのポイントを伝える展示
- ④ ビデオテーク： ウェブとも連動した映像ライブラリー
- ⑤ デジタル・コミュニケーションミュージアム： 各島のサテライトと連携したライブスタジオ的な場

V. 施設整備構想

■ 候補地の検討

候補地を評価する視点を下記に挙げる。

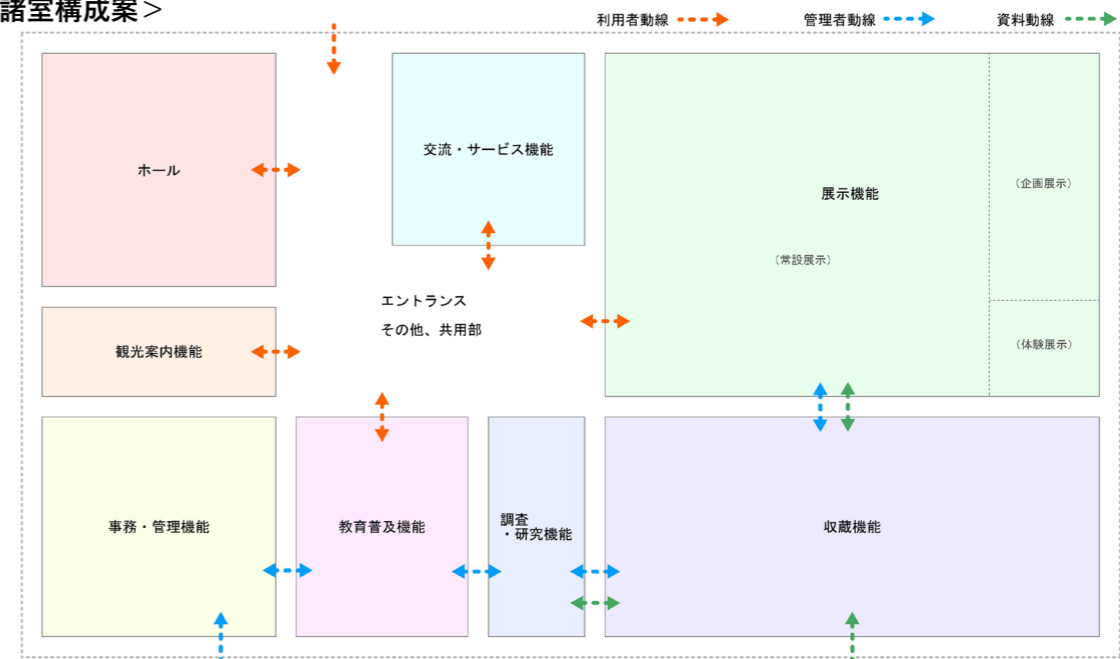
- ①土地の利用しやすさ ②適切な敷地面積 ③アクセスの良さ ④災害等のリスク低減

これらの条件を十分に満たす候補地として、西表島大原地区の町有地が挙げられることから、大原地区における拠点整備を想定する。

■ 施設規模、必要諸室と面積

施設の維持管理面も考慮し、本拠点施設の面積規模を
2,000~3,550㎡の範囲と想定

< 諸室構成案 >



VI. 事業スケジュールの検討

	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5
基幹工程	基礎調査 基本構想	基本計画	基本設計・実施設計	工事・制作	開館準備 開館
運営		運営方針	運営基本計画 運営者の決定	管理運営マニュアル作成	
展示		展示基本計画	展示基本設計 展示実施設計	展示制作	
建築			建築基本設計 建築実施設計	建築工事	